

～潮流を読む～

## TikTok 騒動が映し出すもの

亜細亜大学 都市創造学部  
教授  
後藤 康浩



おそらく数カ月前までは40歳代以上のビジネスパーソンの7～8割は「TikTok (ティックトック)」と聞いても、首をかしげるだけだっただろう。だが、今や「米中冷戦」の新たな象徴となった。この記事を読まれる頃にはTikTokがどんな運命をたどるのか、最初の決着は付いているかもしれない。だがTikTokそのものが米中冷戦の本質の一端を内包し、今後も「第2のTikTok」が生まれる可能性に注目する必要がある。

辞書風に紹介すれば「TikTokは個人が作成した15秒から60秒までの短時間の音楽付き動画をネット上で公開するスマホアプリ」である。SNSは20年足らずの間に文字(テキスト)中心のFacebook、Twitter、Lineなどから静止画像のInstagramに進化し、動画のYouTube、そして短時間動画のTikTokに進化した。もちろんFacebookにもLineにも写真や動画も付けられるが、それぞれの本質をみればこうしたステップがある。そのうえで考えれば、TikTokは数十秒視聴すれば、次の動画に移り、新しいものが次々にアップされる刹那性が大きな特徴だろう。

さて、トランプ大統領がTikTokを運営する中国企業、ByteDance社に米国事業の売却を要求した。米国で1億人以上の利用者がおり、収集された個人情報中国政府に漏洩するリスクがある、という理由である。その点ではスマートフォンや基地局設備のファーウェイを排除するのと同じ論理だ。

だが、TikTokとファーウェイでまったく異なるのは、TikTokは米国で育った企業という点だ。元々は、幼児用教育サービスを米中の両巨大市場で売ろうと上海で起業した中国の若者が売れ行き不振で、資金が尽きかけた最後に乾坤一擲で始めたmusical.ly(ミュージカリー)というブランドの短時間動画の投稿サイトが米国で爆発的にヒットした。その後、遅れて類似したサービスを「抖音(ドゥーイン)」というブランドで、中国市場で開始したByteDanceが、米国のmusical.lyを2017年11月に買収、翌年、事業を統合した。米国はじめ中国以外での展開はTikTok、中国市場は「抖音」というダブルブランドで事業を進め、双方にアップロードされた動画が混在しないようになっている。

つまり、中国人が米国市場で成功させた事業を中国企業が模倣し、中国市場で成功させ、オリジナルの米国事業を逆買収し、世界展開しているという構図である。米国企業以外でこれほど世界に普及したネットビジネスはなく、日本の利用者も中国発のアプリとはまったく意識せずTikTokを楽しんでいる。テンセントのSNSであるWeChatやアリババのEコ

マースの T モール（天猫網）が世界最大級のアクティブユーザーを抱えるといっても大半は中国に住む中国人で、グローバル化しているわけではない。Facebook や Twitter、Amazon のように世界にくまなく広がるグローバル・プラットフォームは米国企業しかできないと思われていたが、TikTok は事もなげに実現した。トランプ政権や米国企業はその点を警戒しているといっておかしい。もちろんニンテンドーのゲーム機やコンテンツは世界に普及し、「あつもり」こと「あつまれ どうぶつの森」は今、ある種のプラットフォームにはなっているが、ブームでしかなく、周辺に広大な波及ビジネスや副次効果があるわけでもない。

TikTok の買収にマイクロソフト、Twitter、オラクル、ウォルマートなど米国企業やソフトバンクまで手を上げたのは、TikTok がもつ可能性の大きさを知っているからだろう。米国企業が中国発のデジタル・プラットフォーム・ビジネスを後追いし、争奪戦を展開しているのが TikTok 騒動の本質である。「馬車メーカーが自動車メーカーになれず、タイプライターメーカーがパソコンで成功できなかった」と同じ理由で、マイクロソフトも Twitter も TikTok にはなることができない。買収するしかないのだ。

では、今後、何が起きるか。musical.ly を成功させた中国はじめアジア、或いは中東、アフリカの若者が米国以外の場所で、グローバル・プラットフォームに成長する新しいサービスを次々と生み出す時代が来るだろう。米国が 1990 年代以降、示してきたようにネット空間で爆発的に成長するビジネスの必要条件は多様性と自由だからだ。TikTok は米政府の意向を汲んだ、どこかの企業が買収した途端、失速してしまうだろう。政府の影響を受けたアプリが若者にとって楽しいはずはなく、大企業病となったシリコンバレー企業の保守性も障害となるだろう。

TikTok 騒動はある意味で、米国のデジタル・プラットフォームの凋落のきっかけになるだろう。